

平成 29 年 4 月

キャリア・サポーター養成講座 学校法人・グループ・都道府県協会等での主催開催について

TCE 財団では、本講座を学校法人やグループ、各都道府県の専修学校各種学校協会等が主催開催できるよう、プログラムの提供と講師のご紹介を行っています。

教職員が数多くおり、できるだけ数多くの教職員を受講させたいが TCE 財団が東京・大阪で主催する講座へ参加する場合の旅費や日程が都合に合わない場合や、都道府県協会等による地域内教員研修の活性化等にご活用ください。

以下は、平成 26 年度に「学校法人・グループ・都道府県協会等による主催開催」をしていたいただいた主催者の感想です。費用や業務の流れにつきましては、P.3 をご覧ください。

○法人・グループによる開催

コア学園グループ本部 帯広コア学園 理事長 神山恵美子さん

私自身が初期のタイミングでこの講座を受講し、トレーナー研修を経て財団のトレーナーとして活動し、また学生用教材（やる気の根っこ）の作成にもお声がけ頂き、本講座と学生用教材への理解と有効性を深めておりましたため、本講座の内容が現場の教職員に大変参考になると感じ、グループ内の会議等でこの講座の有効性を伝えていましたが、正直あまり興味を持ってもらえなかったのが現実です。

それでも自分自身が理事長を務める帯広校や秋田校より財団主催の講座に数人が参加し、また飯田校からは長野県協会の行った講座に参加し、グループ内のキャリア・サポーターの数もゼロではない状態ではありました。

グループ内の受講者が増えなかった理由としては、私の力不足で講座の魅力伝えきれなかっただけではなく、この研修に受講するメリット／アドバンテージが見いだせないのと、何より経費がかかる事があげられると思います。

地方の学校にとっては東京で 3 日間の研修は、その参加費だけではなく、交通費や宿泊費がかなりの負担になります。特に、財団主催の講座はどうしても夏休み中に開催されるので、「特割」といった航空券がなく、また日程的にも前泊／後泊の両方を必要とする 4 泊 5 日の講座参加となり、宿泊費だけではなく業務上も参加が難しくなるということが考えられます。

そのような中、2013 年に私自身が東京と静岡のある学校法人が主催する本講座のトレーナーを担当させて頂く機会を頂戴しました。特に静岡の学校法人様の講座を担当させて頂いた時に、学校を超えた想いの共有と、同じ法人で同じ講座を受け、共に学生指導に向かうその姿勢に感銘を受け、今までは様々な理由で開催を伸ばしていた学園グループ内での講座開催

をしようと、強く決意を致しました。

さて、私どもコア学園グループは、全国で 9 拠点 11 校の専門学校の集まりで、9 拠点はそれぞれ法人が別でありますが、ほぼ毎週テレビ会議を使い情報交換等をしております。また、年に 1 度は校長事務長があつまる「校長事務長会」と教務主任等現場の教職員が集まる「教職員研修」を開催しています。特に教職員研修に関しては、日頃の業務を鑑み、最近ではテレビ会議を使ったセミナーや、1 泊 2 日東京で開催される事が多かったのですが、今回はこの 3 日間の研修を、私が理事長を務める帯広で、私以外のトレーナーに依頼する形で開催する事を強行致しました。

費用面を考えると、東京でかつ私がトレーナーで開催すべきですが、あえて帯広で開催する事により、(1) 他の業務や視察等を入れず講座に集中ができる (2) 原則同じホテルで 2 人部屋にする事で学校間のコミュニケーションが計れる (3) 朝食／昼食／夕食全てを主催者側である本部で準備をすることにより一体感を持てる (4) 私ではなく外部のトレーナーにおねがいすることにより、本部の目を気にせず自己開示しやすくなる、と言った効果の方が大きいだろうと判断し、結果としてそれが全て期待通り、いえ、期待以上の効果をもたらしました。

また、あえて夏休みではなく新年度が落ち着くであろう GW 明けの 5 月中旬に開催した事により、航空券等も安価で入手でき、滞在費に関しても東京に比べかなり安い費用で帯広のグレードの高いホテルを手配する事が可能となりました。

実は講座前のやり取りから、半数以上の参加者からは「義務感」「やらされ感」が伝わって

きましたが、講座がはじまってからは全てをトレーナーにお任せすることにより、受講生のモチベーション、気持ちの変化を意識しました。あえて私を含めて本部のスタッフが見学等をする事も遠慮し、事務局として講座の始まりと終わりの事務連絡は担当しましたが、備品を配るといった講座中のトレーナーのサポートも(事前にトレーナーとの確認をとった上で)受講生に手伝ってもらうスタイルをとり、受講生とトレーナーだけの空間を作ることを意識しました。勿論、昼食もあえて私を含めた本部スタッフと一緒に取る事をせず、懇親会でもトレーナー中心となるよう心がけました。

結果としては、参加者の満足度が非常に高く、後日学内で実習を交えた報告会の実施や、「やる気の根っこ(学生用教材)」を新たに3校で導入するなど、効果は現れている事と思われま。また本部としても今までで一番手応えのある研修でした。

私の言葉よりも、現場の教職員の感想を、2件抜粋してご紹介します。

- 現在は、学生との個人面談中で「傾聴」や「質問の仕方」など意識しながら行ってい

る毎日です。今後はコミュニケーション授業の担当教員、就職指導担当の教員とも連携しながらより効果的な指導をしていきたいと思っております。

- 今までは就職担当の先生に任せていた学生の就職活動ですが、一緒になり学生の為にサポートを行っています。一人ひとりに声をかける事で見えていなかった学生の事が分かってきます。講座でもありましたが、学生が主役という事を常に考えてサポートや話を聞くようにすることで講座を受ける前と受けた後の学生へ対する自分の変化もあることが分かります。今後も学んだ事を活かして取り入れていきます!

最後に主催側としては、費用面等で毎年開催は難しくても、せめて3年に一度は同じスタイルで実施をし、キャリア・サポーターの割合を増やしていきたい、これが私の責務であると感じているところです。その前にまずは、メーリングリストやテレビ会議システムを活用し、この想いを共有し続けていきたいと思っています。

以上

○専修学校各種学校各都道府県協会等による開催

一般社団法人岡山県専修学校各種学校振興会 会長 平田 眞一さん

岡山県専各では3年連続してキャリア・サポーター養成講座を開催してきました。当初この講座が東京や大阪など一部の地域でのみ開催されていたため、岡山から3日間の研修に参加するためには費用がかかり、県内での講座受講生があまり多くなかったことから、岡山で開催すれば多くの教員に受講してもらえるのではないかと実施に踏み切りました。

岡山県専各ではこれまで教員向けの研修会も実施してきましたが、多くは半日程度の実施で知識を得る程度の研修でしかなく、本講座のような3日間の研修を行うことはありませんでした。専門学校の教員の質を高めることは岡山県専各の目的でもあり、時代の変化とともに学生の気質や教員の対応の変化など、新たな取り組みとして実施する効果があると判断し、研修予算を計上して少しでも参加者の負担を軽くし参加しやすいよう設定しました。

実際に実施してみると定員一杯の参加者があり、現場の教員の意欲を感じることができたため、今年で3回目の実施となりました。当初予定していた県内の参加者だけでなく、他県か

らの参加者もあり、参加した教員にとって普段接することのない他地域・他分野の教員とともにグループ学習したことは大変有意義なものでした。夏休みの暑い時期での実施でありましたが、参加された方の得るものは多かったようで、修了者の満足度は高いものがありました。

専門学校の教育は、知識を教えるだけではなく学生に考えさせる必要があるため、これまで教員は様々な場面で苦労をしてきていましたが、本講座は学生に考えさせる授業の展開を学ぶことができるため、諸問題の解決や検討を行う上で役立つ講座であったと思います。

本年度より職業実践専門課程認可が始まり、専門学校教員に研修が義務づけられることから、今後更に参加者は増加すると考えられ、実際本年度の講座は参加をお断りしなければならない状況でした。研修を実施する準備を含め、指導者や事務担当者は大変ではありますが、一人でも多くの方に受講していただき、研修の成果を広めていただくことが今後の専門学校の発展につながるものと期待しております。

学校法人・グループ・都道府県協会等での主催開催による
「キャリア・サポーター養成講座」実施運営の流れ
(※ は都道府県協会・学校法人等の行う業務)

1. 講座の立案(受講料^{注1}・講師謝金額^{注2}等の設定を含む)
財団事務局へ事業計画案の提出(講座実施 45 日前まで)

注1 「受講料」は、財団事務局へ支払う下記「4. 審査・認定料(1名につき11,000円)」を含めて設定してください。

注2 講師謝金額は原則として税込 210,000 円。異なる金額をご検討の場合は、財団事務局へご相談ください。

……財団運営委員会による事業計画案の確認・承認とトレーナーの選定
財団事務局より「認定トレーナー」(13名在籍<H29.4月現在>)の紹介

2. 受講者^{注3}の募集、受講料^{注4}(審査・認定料を含む)の徴収

注3 1講座あたりの受講者数は、原則として、8名以上24名までとします。

注4 「受講料」は、財団事務局へ支払う下記「4. 審査・認定料(1名につき11,000円)」を必ず含めて徴収してください。

……財団事務局より指定テキストの無料提供

3. 講座の運営^{注5}、^{注6}
講師謝金の支払い

注5 養成講座カリキュラムに基づき、21時間(1日7時間×3日間*)実施してください。キャリア・サポーターとして認定されるためには、認定トレーナーによる講座21時間の全課程受講が必修です。

*連続する3日間、または1日目の開講から3週間以内に全課程を終了する日程で実施。

注6 備品(文房具等)及び副教材は、都道府県協会・学校法人等で準備してください。

主な副教材:「キャリア・アンカーⅠ セルフ・アセスメント」(1冊約¥830×人数分)

「VPI職業興味検査」問題・回答用紙(20名分セット約¥9,500)

4. 受講者「課題レポート」・「アンケート」の取りまとめ、財団事務局への提出
財団事務局へのキャリア・サポーター審査・認定料(1名につき11,000円)の支払い

……「課題レポート」「アンケート」の内容、取りまとめ方法は、財団事務局から連絡します。

……財団運営委員会による受講修了者の認定審査及び認定

……財団事務局より都道府県協会・学校法人等へ「キャリア・サポーター認定証」の送付

5. 都道府県協会・学校法人等から受講修了者への認定証配布

<お問い合わせ先> 一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 事務局 総務課 加藤

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 11 階 TEL: 03 (3230) 4814 FAX: 03 (3230) 2688